

## 町指定文化財

じゅういちめんかんぜおんぼさつりゅうぞう  
20 木造 十一面観世音菩薩立像



クス材の一木造り。髪を頭上で束ねた根元の部分である髻頂（けいちょう）に仏面、頭部地髪部に菩薩面を配する。体幅ほどの蓮華座に両足をそろえて立つ。制作年代は平安時代後期（12世紀）頃とされ、本町での平安期における先人たちの信仰や仏像彫刻史を紐解く上での貴重な文化財です。